

セキュリティエンジニア

必要なスキルと年収

レベル別ロードマップと将来性

公的統計 388 万～1,226 万円の実態



何から始めればいいでしゅ？

まず全体像を掴むことが第一歩だ



【解説に入る前に】サービスのご紹介



セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- ✓ 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- ✓ リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- ✓ セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

[詳細を見る →](#)



セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- ✓ 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- ✓ 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- ✓ 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

[詳細を見る →](#)



どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。

● 業務サイクル 6 フェーズ

1

企画・提案

セキュリティポリシー策定・リスクアセスメントの設計

2

設計

ネットワーク・システムのセキュリティアーキテクチャ設計

3

実装

ファイアウォール・WAF・認証基盤の構築

4

テスト・診断

脆弱性診断、ペネトレーションテストの実施

5

運用・監視

SIEM 運用、ログ分析、脅威インテリジェンス活用

6

インシデント対応

初動対応・フォレンジック・再発防止策の立案

● 必要なスキルの3層構造



基礎スキル

OS ・ ネットワーク ・ Python ・ SQL 。すべての応用の土台



専門スキル

脆弱性診断 ・ 暗号 ・ 認証 ・ SIEM/SOC 運用の実務力



先端スキル

クラウドセキュリティ ・ AI セキュリティ ・ ゼロトラスト

基礎なき専門は砂上の楼閣。3層を順に積むことが市場価値の最短経路



● 土台となる基礎スキル 4 つ



OS ・ コマンドライン操作

Linux/Windows の CLI 。 ログ確認からプロセス管理まで



TCP/IP ネットワーク知識

パケット解析から FW 設計 ・ 不正通信検知の基盤



優先言語と前提知識

Python は自動化に即戦力。 SQL は SQLi 対策の前提

● 需要が高い専門スキル 4 領域



脆弱性診断

OWASP ZAP ・ Burp Suite で Web アプリの弱点発見



認証・認可設計

OAuth2.0 ・ SAML ・ MFA はゼロトラスト必須スキル



SIEM/SOC 運用が急成長

Splunk を軸にログ分析・可視化の需要が急増中



● 差がつく先端スキル 3 領域



クラウドセキュリティ

CSPM ・ CNAPP 設計運用。月額単価に直結する最需要領域



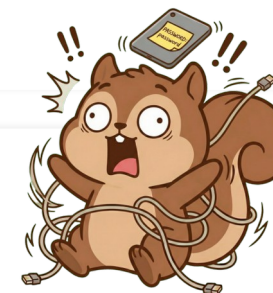
AI セキュリティ

プロンプトインジェクション等 AI 固有脅威への対策



ゼロトラスト設計

SASE アーキテクチャ主導。関連案件は中央値月 90 万円 ・ 上限 130 万円



ISC2 調査：世界の 95% がスキル不足。先端 3 領域のギャップが最も深刻



● レベル別ロードマップ 4 段階

1

未経験→初級

IT パスポート→CompTIA Security+→Linux 基礎→CTF 参加。公的統計 20 代は 388 ～ 453 万円

2

初級→中級

情報処理安全確保支援士取得。SOC・CSIRT 配属で実務経験を積む。30 代は 549 ～ 604 万円

3

中級→上級

CISSP・OSCP の取得。フリーランス転向も選択肢。40 ～ 50 代 681 ～ 778 万円、設計・コンサル区分は 866 万円～

4

フリーランス

月額中央値 92.5 万円。専門特化で年収 1,500 万円超も射程圏内

基礎から積み上げれば数字はついてくる



● スキル証明の資格 国内 vs グローバル

国内資格



情報セキュリティマネジメント

合格率 50 ～ 60%。初中級・情シス部門向け



情報処理安全確保支援士

合格率約 20%。登録セキスペ独占名称

グローバル資格



CompTIA Security+

初級。世界的認知度が高い



CISSP

上級。経営視点のセキュリティマネジメント



OSCP

24 時間実技試験。技術力の最強証明

難関でも取る価値あり



● 正社員 vs フリーランス 年収比較

正社員

経験年数別年収レンジ

- ・ 初級 (20 代) : 388 ~ 453 万円
- ・ 中級 (30 代) : 549 ~ 604 万円
- ・ 上級 (40 ~ 50 代) : 681 ~ 778 万円
- ・ 公的統計の平均 : 610 万円 (令和 7 年)

VS

フリーランス

専門スキル別月額単価

- ・ ゼロトラスト・ SASE : 中央値 90 万円
- ・ SOC 運用・ 監視 : 中央値 95 万円
- ・ クラウドセキュリティ : 中央値 90 万円
- ・ コンサルティング : 中央値 120 万円



差のポイント

月額中央値 92.5 万円 (50 ~ 180 万円)。実務 3 年 + 資格 1 つが独立の目安

● 人材不足と AI 時代を生き抜く条件



人材不足の深刻度

日本の 42% が人材確保困難。世界平均 29% を大幅超



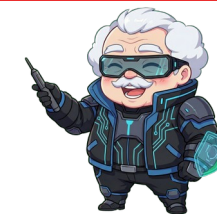
AI に代替されない業務

経営判断・未知攻撃への対策・AI 固有リスク評価



AI を武器にする側へ

AI 活用スキルで希少価値を維持。武器として使う側へ



● キャリアパス 5 つの選択肢

1

コンサル /CISO

CISSP+CISM 取得。公的統計の部長級約 1,213 万円超。経営層との対話が主戦場

2

ホワイトハッカー

OSCP ・ CEH 取得。脆弱性診断求人の年収中央値 680 万円。副業も可能

3

セキュリティ設計

クラウド設計特化。NW セキュリティ求人 20 件は中央値 775 万円。参入障壁が高い分高単価

4

SOC アナリスト

Splunk ・ EDR 運用。SOC 求人 24 件は中央値 650 万円。あらゆるキャリアの基盤

5

フリーランス

月額中央値 92.5 万円。専門特化で年収 1,500 万円超も射程圏内

● まとめ | スキルを武器にキャリアを切り拓こう



スキルは基礎→専門→先端の3層で積み上げ、資格で客観的に証明する



2030年IT人材79万人不足。今スキルを磨いた者が最も恩恵を受ける



フリーランス月額は中央値92.5万円・上限180万円。専門特化+AI活用で市場価値を最大化

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

[セキュリティプロ・テンショク >](#)

